



鶏 けいめい 鳴

2009年1月11日(第21号)

イエスの言葉

『わたしにつまずかない人は幸いである』
聖書(マタイ福音書 11章 6節)

牧師 河合 裕志

昔から今日に至るまで多くの人々がイエスにつまずいて来ている。果してこの人は何者なのか。本当に神の子・救世主なのか、それとも山師・詐欺師なのか。皆さんならどのように思われるだろう。

福音書にはイエスにつまずいた人々が多数出て来る。勿論神の子・イエスを信じた者も大勢いたが、つまずいた人の中に意外にもバプテスマ(洗礼者)のヨハネがいた。このヨハネはもともとイエスを世に紹介した人。

「わたしの後から来る方は、わたしよりも優れておられる。わたしはその履物をお脱がせする値打ちもない」と言ってイエスを待望のメシア(救世主)、神の子として世に指し示した。

ところがヨハネは、兄弟の奥さんを横取りすることはよろしくないと言われ、領主を批判したのだからたちどころに捕えられ牢に投ぜられてしまう。これをさかみにイエスは公の活動を始めるがイエスの働きぶりをヨハネが獄中であって弟子より耳にした時にヨハネはつまずいてしまう。ヨハネの描いていたメシア像と現実のイエスとの間に大きなギャップを見たから。彼は弟子をイエスのもとに送って尋ねさせた。「来るべき方はあなたででしょうか。それともほかの方を待たなければなりませんか」。

一体に何がヨハネをつまずかせたのか。そ

れはイエスのあまりの優しさだった。ヨハネの期待したメシアはもっと激しい、人の罪を審判してやまない火と燃ゆる者。ところがどうもイエスは大分違ってる。

この問いかけにイエスは何と答えたか。「行って、見聞きしていることをヨハネに伝えなさい。目の見えない人は見え、足の不自由な人は歩き、重い皮膚病を患っている人は清くなり、耳の聞こえない人は聞こえ、死者は生き返り、貧しい人は福音を告げ知らされている。わたしにつまずかない人は幸いである」。

イエスに関するこのような情報はすでにヨハネに達していた。だからつまずいた。しかしイエスはヨハネが知っているところをそのまま伝えるように言った。私はあなたが思い描くような型のメシアではないよ、人の困窮に手を伸べ、人を新たに生かす者だよ、そこにホントのメシアを見てくれれば有難い。こうイエスは言った。

あなたはイエスをどう見る。救世主? いかさま師? イエスは今もわたしたちにつまずかない人は幸いだと言っている。

集会案内

- | | | |
|-------------|---------|----------|
| 主日礼拝 | : 毎日曜日 | 午前10時15分 |
| こどもの教会 | : 毎日曜日 | 午前9時 |
| 高校生会 | : 毎日曜日 | 礼拝後 |
| 婦人会・壮年会 | : 第2日曜日 | 礼拝後 |
| 聖書を学ぶ集い | : 第4水曜日 | 午前10時 |
| オリーブの会(読書会) | : 第3月曜日 | 午前10時 |